

令和2年度

## 事務事業評価表（令和元年度 の実績評価）

記入年月日  
令和2年 4月6日

事務事業名		空き家対策事業						事業区分		担当		
政 策 体 系	総合計画の施策名	0502 景観の良い住環境の保全						新規/継続	継続	事務事業No.	0502020000697	
	施策名	05 快適な暮らしのまちづくり						単独/補助	補助	所属課	060201 都市整備課	
	施策名	02 景観の良い住環境の保全						課長名	グループ	空家対策室		
	手段名	02 ②定住・空き家支援の推進						担当者名				
財務会計上の位置付け												
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	单年度繰返し	(平成25年度~)			
	01	08	04	01	06	00	空家対策事業	➡	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠	空家等対策の推進に関する特別措置法											

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

## (1) 事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 桜川市空家等対策計画に基づき、空家等対策の推進及び空家等の活用の促進を図ることにより、市民が安全に安心して暮らすことができる生活環境を確保するとともに、地域社会の活性化に寄与することを目的として事業を行ないます。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 空家等対策計画に関すること 関係各課との対策協議 利活用空家（申請データを基に調査、空家情報Web掲載、問合対応、仲介依頼、空家情報更新） 特定空家認定（相談・苦情対応、空家状況の把握、管理者の調査、認定プロセス、審議会開催）
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段(担当者の活動内容)	④活動指標(活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
・空家等の抑制 ・所有者等による空家等の適切な管理 ・空家等の利活用（空家バッカなど） ・総合相談・苦情窓口	空家等対策推進協議会の開催（連絡調整会議を含む）	回	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00
	空家バッカ登録数	件	2.00	0.00	5.00	5.00	5.00
	特定空家認定数	件	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00
	苦情・相談数	件	20.00	62.00	60.00	70.00	70.00
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
空家	住居する建物総数(H25住宅・土地統計より)	棟	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00
	空家数(H26空家実地調査住宅数)	棟	578.00	574.00	570.00	568.00	565.00
	改善空家数(利活用・解体・特定空家数の累計)	棟	4.00	0.00	8.00	10.00	13.00
③意図(この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
空家の適切な管理	空家率(空家数/住居する建物総数)	%	4.13	4.10	4.07	4.06	4.04
	改善率(改善空家数/空家数)	%	0.69	0.00	1.40	1.76	2.30
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量
	財 源 内 訳			
国庫支出金 千円	0	0	112	0
県支払金 千円	0	0	0	0
地方債 千円	0	0	0	0
使用料・手数料 千円	0	0	0	0
その他 千円	0	0	0	0
一般財源 千円	86	12	436	0
事業費計(A) 千円	86	12	548	0
正規職員従事人数 人	2,00人	2,00人	3,00人	

O1年度事業費 実績(千円)			O2年度事業費 予算(千円)		
11 需用費	12		01 報酬	120	
			09 旅費	7	
			11 需用費	161	
			16 原材料費	10	
			19 負担金補助及び交付金	250	
		合計	12		合計 548

事務事業名	空き家対策事業	事務事業No.	50202000697	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?					
地域における人口減少や既存の住宅等の老朽化、社会的ニーズの変化及び産業構造の変化に伴い、居住その他の使用がなされていない空家等が年々増加しています。 これらの中には、適切な管理が行われていない結果として安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等多岐にわたる問題を生じさせ、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているものがあり、国の政策として「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成26年11月27日に施行された。					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?					
東日本大震災以降、多くの空き家が破損したままになっているところが多く、改善の対応を求められている。 管理されていない空家について、近隣から雑草の繁茂、瓦・トタン等の飛散の苦情がある。 空家を探している方から、情報提供の問い合わせがあるが、登録物件数が少ない。					

〔See〕 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評価項目

(1) 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)		
現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、市政政策体系と合致します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	空家の適切な管理により、市民が安全に安心した暮らしと生活環境の確保のための事業であるために妥当です。
(2) 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	各課バラバラで行っていた空家の対策について、平成29年度に統一的な窓口を創設したため、向上の余地は大いにあります。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	桜川市第2次総合計画に描くため、市政政策体系の見直し等の影響は大きいです。
(3) 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないか?)		
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、施行しており類似事業はない。また、取組み始めたばかりの事業で、民間事業所との連携が取れない状況です。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	平成29年度から始まつたばかりの事業であり、成果もまだまだ上がっていません。さらに経費を掛けていかないと事業が軌道に乗らない状態です。
(4) 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	空家の問題だけでなく、近隣の周辺環境や景観、防災等に大きく影響し、空家の適正管理は地域にとっても有益であるため公平である。

〔Plan〕 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	空家対策計画に基づき、空家の適正管理の促進を行った。今後は空家バンクによる利活用促進と、適正管理・特定空家への対応について、空家対策推進会議に諮りながら事業を開発する。																	
(3) 今後の事業の方向性																		
□ 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続    → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → □ 廃止 <input type="checkbox"/> 休止    → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる											
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																	
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		
空家の適正管理の通知を行うが、リアクションがなかったり、相続放棄をしていたりで改善がなかなか進まない状況である。 今後の対策として、空家対策の補助金等の見直しを行うことや、特定空家への認定を推進し、行政代執行等を視野に入れて考えなければならない。																		
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成 果</th> <th>向 上</th> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維 持</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上		○	維 持			低 下		
	コスト																	
	削減	維持	増加															
成 果	向 上		○															
	維 持																	
	低 下																	
(6) 事務事業優先度評価結果																		
成果優先度評価結果 (3)																		

〔Check〕 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価	A : 継続(現状維持) B : 継続(改革改善を行う)	C : 終了、廃止、休止 D : 2次評価へ提出
	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認	